

The 37th Annual Meeting of the Japanese Association for Group Psychotherapy

日本集団精神療法学会 第37回学術大会

治療共同体・再訪

—考え続けるコミュニティ—

大会長 古賀恵里子(大阪経済大学)

会場 大阪経済大学

会期 2020年3月21日(土)

22日(日)

RELATIONSHIPS
Attachment
Process
Participation
Safety
Communication
Balance
RESPONSIBILITY
Respect
Interdependence
Community
Group

ご挨拶

治療共同体・再訪

ー考え続けるコミュニティー

集団精神療法、グループ・アプローチ、そして人と人の関係性をもつ可能性に関心を抱き続けている皆さま、第37回学術大会のプログラム集をお届けします。加えて、これまでは集団のアプローチを遠ざけ気味だった皆さまにも、このプログラム集のページをめくって頂くことをお勧めします。

本大会のテーマで取り上げている「治療共同体」はグループのもつ力をふんだんに使ったアプローチであり、人と人との関係性を「治療的に」使うことができる環境の設定を目指すものです。

精神科医療においては、1942年にイギリスのノースフィールド陸軍病院で Bion, W.R. と Rickman, J. によって始められた第一次ノースフィールド実験が初めての治療共同体の試みであったことはよく知られていますが、ご当地イギリスにおいても、その後、紆余曲折を経て、現在は地域での実践に大きく移行し、成人のメンタルヘルスの領域のみでなく、子どもの施設や、司法領域でのサービスにまで広がっています。更に、「治療」にとどまらず、様々な組織がその中の人と人の関係性の持つ力を豊かに発揮できるような「環境」をつくり出す方向にまで応用されつつあります。

本大会一日目の特別講演では、イギリスの治療共同体の展開を支え、実践家として豊かな経験をお持ちの Rex Haigh さんに「イギリスにおける治療共同体ー伝統的モデルの修正と新機軸」というタイトルでお話頂きます。Haigh さんは、主にパーソナリティ障害をもつ人たちの治療共同体で仕事を重ねてこられ、現在はパーソナリティ障害サービスのバークシャー州コンサルタントであり政府顧問も務めておられます。

二日目のシンポジウムのテーマは「考え続けるコミュニティー」です。重篤な問題を抱えるクライアントと仕事をし続ける中で、組織/コミュニティー、そしてその中の個人が考え続ける機能を保持し続けることはたやすくありません。しかし、組織/コミュニティーの治療的機能を保持し続けるためには考え続けることが必要です。一人一人が組織/コミュニティーについて考え続けることが、「考え続けるコミュニティー」をつくり出します。

シンポジストはイギリスの Robert Hinshelwood さんと、日本の鈴木純一さんです。イギリスと日本それぞれで、治療的コミュニティーを培うことに尽力されてきたお二人のお話から、私たちは多くの刺激を受け、自分たちの組織/コミュニティーについて更に深く考えることができるだろうと思っています。

Hinshelwood さんは、ビデオでプレゼンテーションして頂いた上で、ディスカッションにはビデオ通話でご登壇頂きます。

大会企画ワークショップは、一日目に Haigh さんが「イネイブリング・エンバイロメントのためのコア・バリュー、そして治療共同体のためのコア・スタンダード」のテーマで、ご自分の仲間と一緒にワークショップを開いてくださいます。「イネイブリング・エンバイロメントって何だろう？」と思って参加してください。

二日目には、「東日本大震災等の相互支援グループ」をはじめ、「学校」「精神科医療」「児童心理治療施設」「アディクション/司法」の領域での治療共同体の実践や今後の可能性について考えるワークショップを企

画しました。

更に、第36回に引き続き市民公開フォーラムも企画しました。私の職場である大阪経済大学の「心・体の健康と防災セミナー2019」との共同企画です。テーマは「おしゃべりからつながるー地域のコミュニティに参加しようー」です。地域の方々と大会への参加者が交流できる場になることを期待しています。

そして、本大会の目玉は二日間朝夕に開く大グループ「コミュニティ・ミーティング」と、一日目二日目それぞれに、同じメンバー（15人程度）とコンダクターで集まる「リフレクション・グループ」です。内容については「プログラムの参加について」（p.12）の説明を読んでいただきたいと思いますが、大会を一時的なコミュニティと考えて、参加者それぞれが、大会について、大会での自分の体験について話し合う場です。リフレクション・グループは事前登録をしてください。

大いに感じ考え、そして話し合うことは集団精神療法学会ならではの体験です。グループの醍醐味を味わってください。

第37回大会では、上記「コミュニティ・ミーティング」や「リフレクション・グループ」の導入、それに伴う従来からのプログラムの枠組みの大幅な変更、発表申込みを二段階から一段階にしたことなど、いくつかチャレンジを試みました。このことに違和感を持たれた人もいらっしゃると思います。そんな声も、大会の中でどんどん発してください。

企画運営委員会は最善を尽くしたいと思いますが、うまく物事が進まないこともあるかもしれません。しかし、きっとそこからも学びがあると信じています。企画運営委員一同、大阪・上新庄で皆さまと体験を共有できることを楽しみにしています。

日本集団精神療法学会第37回学術大会
大会長 古賀恵里子（大阪経済大学）

日本集団精神療法学会 第37回学術大会のご案内

【事前申し込み】

- 参加申し込みは、事前申し込みを原則とさせていただきます。
 - ・学会員の方、非会員ともに、大会参加申し込みは日本集団精神療法学会第37回学術大会ホームページ (<http://jagp1983.com/jagp37osaka>) で、受け付けます。
 - ・定員の定められたプログラムへの参加申し込みはホームページで受け付けます（先着順）。
 - ・懇親会の予約も同様です。
- 参加費・懇親会費はカード決済、もしくは銀行口座にお振り込みとなります。
- 事前申し込みの参加費は、以下の通りです。
 - 会員：8,000円 / 非会員：9,000円（2日目のみ：5,000円）
 - 学生（院生含む）：5,000円
 - 懇親会費：5,000円
- 事前申し込みの期間は、2019年12月14日（土）から2020年2月3日（月）です。
 - ・カード支払、銀行支払ともに入金をもって事前申し込みが完了いたします。
 - ・2020年2月3日（月）までに入金をお済ませください。なお、お振り込みいただいた参加費・懇親会費は、一度お振り込みいただきますとキャンセルできませんのでご注意ください。
- 事前申し込み完了の後、大会運営事務局から抄録集、名札等を郵送いたします。
 - ・発送開始は2020年2月中旬を予定しています。
- 大会当日は、名札を必ずお持ちください。
 - ・当日に名札をお忘れになった場合は再発行可能ですが、別途100円請求いたします。
- 会場近辺に飲食店やスーパー、コンビニ等がありますが、大学構内にコンビニはありません。大学食堂も営業していませんのでご注意ください。
 - ・昼食に弁当（お茶付）を希望される場合は、事前の申し込みをお願いいたします。当日販売はありません（1,160円／1,380円／1,580円・税込）。
- 手話通訳等の支援が必要な方は、事前申し込み時にその旨お知らせください。
- 大会当日に託児室を設けます。託児室（満1歳～10歳未満）の利用を希望される方は、事前申し込み時にお知らせください（有料）。

【当日申し込み】

- 当日申し込みの大会参加費は、以下の通りです。
 - 会員：9,000円 / 非会員：10,000円（2日目のみ：5,000円）
 - 学生（院生含む）：6,000円
- 大会当日に受付でお申し込みください。その際に名札と抄録集をお渡しいたします。
- 大会当日は、受付での混雑が予想されます。釣り銭のないように参加費をご用意ください。

- 別途、抄録集が必要な方は当日1冊1,000円(税込)で販売いたします。

【受付について】

- 大会参加受付、発表者受付の場所は、A館(70周年記念館)2階ロビーです。
- 受付時間は下記の通りです。
 - 3月21日(土曜日) 9:15～17:00
 - 3月22日(日曜日) 8:30～14:30(この時間以降は大会事務局にお越しく下さい。)
- 事前申し込みをされた方は当日受付の必要はありません。

【大会事務局】

- 大会当日の大会事務局の場所は、A館(70周年記念館)2階会議室です。

【大会参加時の留意点】

- 一部のプログラムは定員・参加条件が設定されております(p.12～14をご参照ください)。・事前申し込みの際にホームページでお申し込みください。空きがある場合は当日掲示し、所定の時間まで受け付けいたします。
- 大会参加中は必ず名札を着用してください。
- 大会に参加された方は守秘義務にご留意ください。会場内での撮影ならびに録音はご遠慮ください。なお、大会運営側が原則として各会場で録音をしますが、これは大会の記録として残すもので他の目的での利用はありません。ご了承ください。
- 本大会は日本精神神経学会精神科専門医資格認定更新・研修ポイント取得対象学会となっております。
- 喫煙は所定の喫煙所をお願いします。

【懇親会について】

- 大会1日目のプログラム終了後、19時からD館8階にて懇親会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

【発表について】

● PowerPoint の使用について

- ・会場に設置されるパソコンは、Windows10 です。
- ・使用するアプリケーションは、Microsoft PowerPoint 2019 (Office2019) です。
- ・PowerPoint を使用される方は、プログラム開始前までに各会場にてパソコンの動作確認をお済ませください。USB スロットあり (2口)。

●ご自身のパソコンを使用される場合

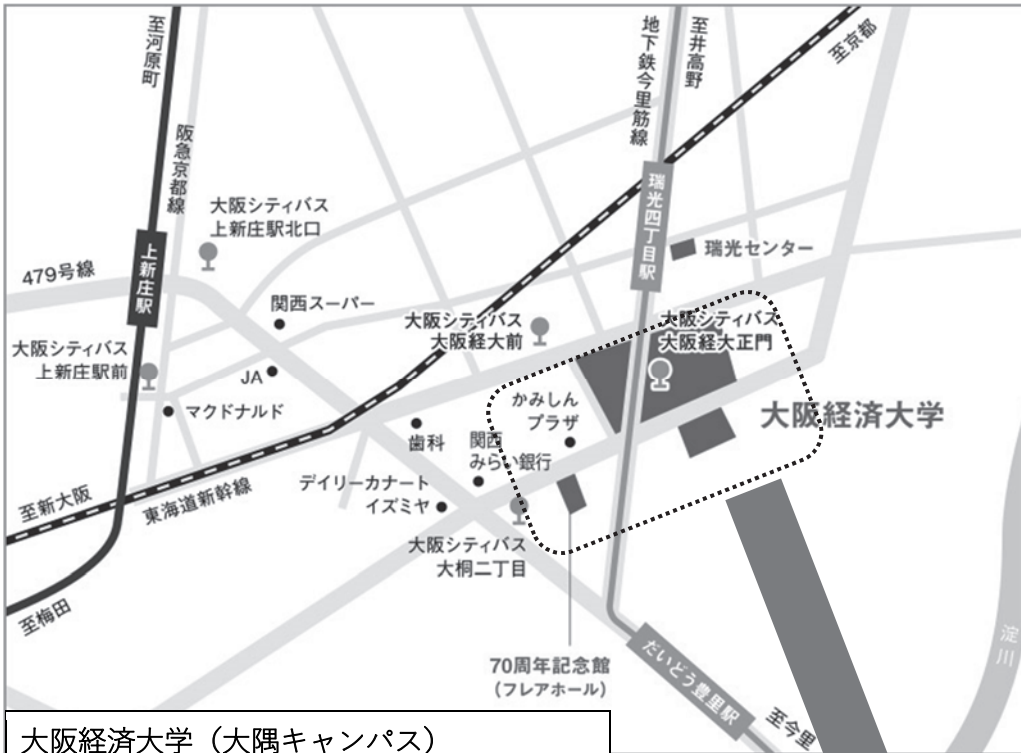
- ・HDMI もしくは RGB (D-sub15pin) の出力端子付きパソコンおよびケーブルをご持参ください。この端子が装着されていないパソコンをご使用の場合は、アダプターを必ずご持参ください。RGB (D-sub15pin) を使用し、音声も流す場合には、ステレオミニプラグで出力する必要がありますのでご注意ください。
- ・発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることがありますので、電源アダプターは必ずご持参ください。
- ・発表中にスクリーンセーバー、ウイルス対策ソフト等が作動したり、省電力機能で画面が見えなくなったり電源が切れてしまったりしないよう、設定をご確認ください。
- ・データ内に動画がある場合、パソコンによっては外部出力に動画が映らない可能性がありますので、動画の使用はご注意ください。

●発表資料について

- ・発表時に資料を配布される方は、十分な数を各自でご用意頂き、セッション開始 30 分前までに各会場スタッフにお渡し下さい。ただし、回収資料はご自身で責任を持って配布、回収をお願いいたします。
- ・大会事務局はコピー希望には対応いたしませんのでご了承ください。

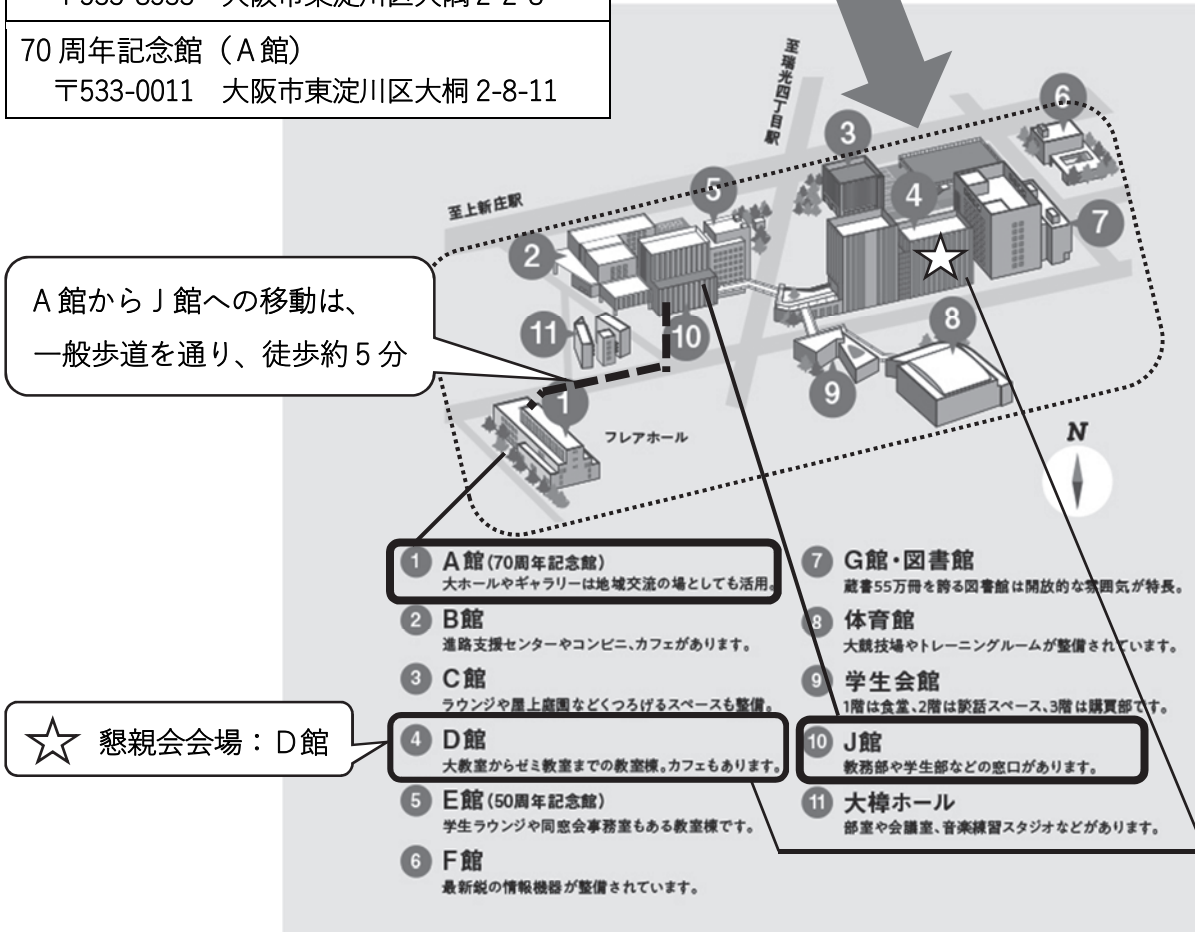
交通のご案内

【キャンパス案内】



大阪経済大学 (大槻キャンパス)
〒533-8533 大阪市東淀川区大槻 2-2-8

70周年記念館 (A館)
〒533-0011 大阪市東淀川区大槻 2-8-11



A館からJ館への移動は、
一般歩道を通り、徒歩約5分

★ 懇親会会場：D館

- 1 A館 (70周年記念館)
大ホールやギャラリーは地域交流の場としても活用。
- 2 B館
進路支援センターやコンビニ、カフェがあります。
- 3 C館
ラウンジや屋上庭園などくつろげるスペースも整備。
- 4 D館
大教室からゼミ教室までの教室棟。カフェもあります。
- 5 E館 (50周年記念館)
学生ラウンジや同窓会事務室もある教室棟です。
- 6 F館
最新鋭の情報機器が整備されています。
- 7 G館・図書館
蔵書55万冊を誇る図書館は開放的な雰囲気特长。
- 8 体育館
大競技場やトレーニングルームが整備されています。
- 9 学生会館
1階は食堂、2階は談話スペース、3階は購買部です。
- 10 J館
教務部や学生部などの窓口があります。
- 11 大樟ホール
部室や会議室、音楽練習スタジオなどがあります。

【会場までの経路案内】

京阪神の駅から最寄り駅まで



・JR 大阪駅から会場まで：大阪シティバス（所要時間約 40 分）

【井高野車庫前】行 37 系統「大阪経大前」もしくは、93 系統「大阪経大正門」下車

新大阪駅から最寄り駅まで

・OsakaMetro 御堂筋線で「西中島南方」駅下車 徒歩約 4 分で阪急京都線「南方」駅へ
阪急京都線「南方」駅から「上新庄」駅下車 所要時間約 15 分

大阪国際（伊丹）空港から最寄り駅まで

①電車でお越しの方：大阪モノレールで「南茨木」駅下車

阪急京都線「南茨木」駅から準急で「上新庄」駅下車 所要時間約 45 分

②空港バスでお越しの方：リムジンバスで「大阪駅前」下車

阪急京都線「大阪梅田」駅から準急で「上新庄」駅下車 所要時間約 60 分

最寄り駅から会場まで

①阪急京都線「上新庄」駅から

1. 徒歩約 15 分

2. 「上新庄駅北口」より 大阪シティバス 37 系統【井高野車庫前】行、「大阪経大前」下車

3. 「上新庄駅前」より 大阪シティバス

50 系統【井高野車庫前】行、「大阪経大前」下車

86 系統【布施駅前】行、もしくは 95 系統【豊里団地前】行、「大桐二丁目」下車

※「大桐二丁目」より徒歩 3 分、「大阪経大前」より徒歩 5 分

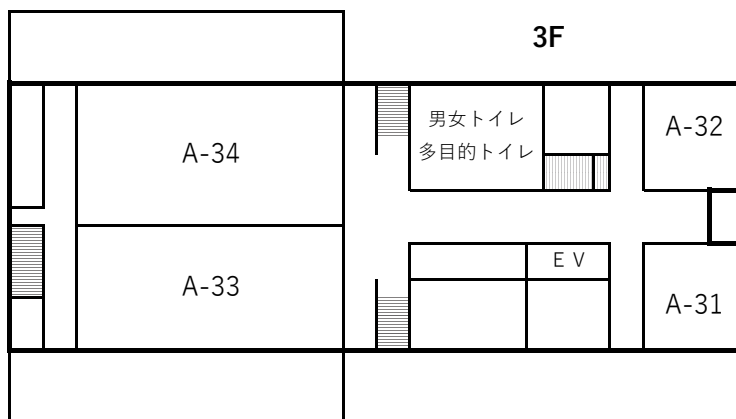
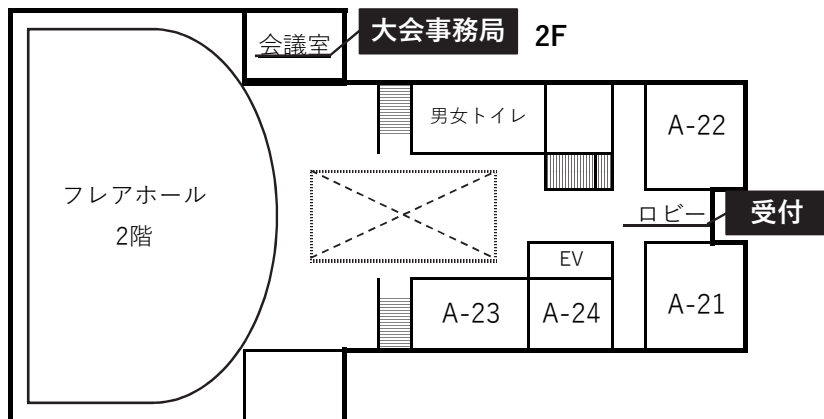
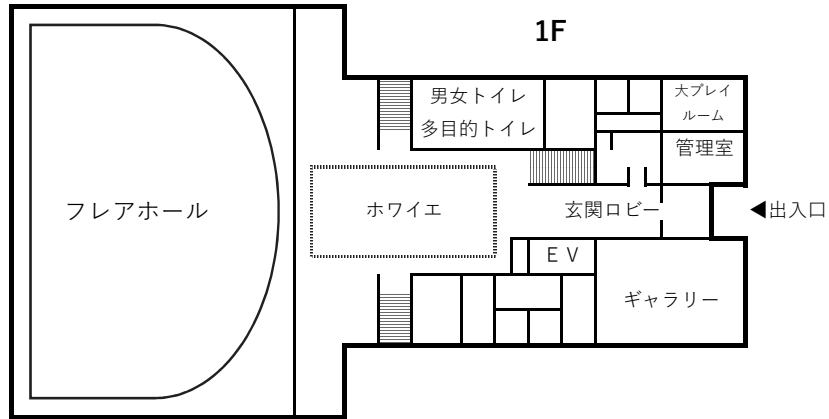
②地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅から A 館まで徒歩約 6 分／J 館まで徒歩約 2 分

「だいどう豊里」駅から A 館まで徒歩約 10 分

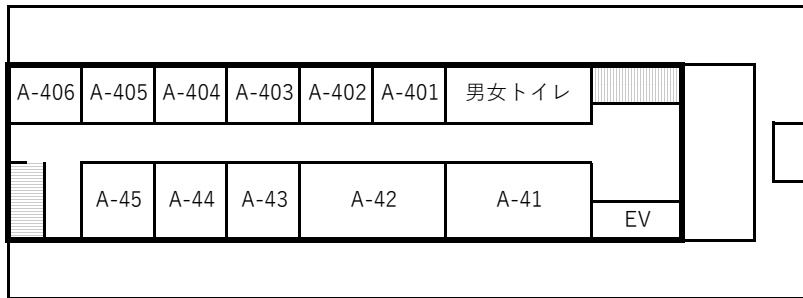
※タクシーをご利用の場合は、運転手に「大阪経済大学 70 周年記念館」とお伝えください。

【会場案内図】

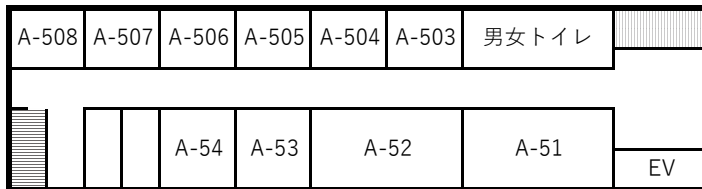
A館（70周年記念館）



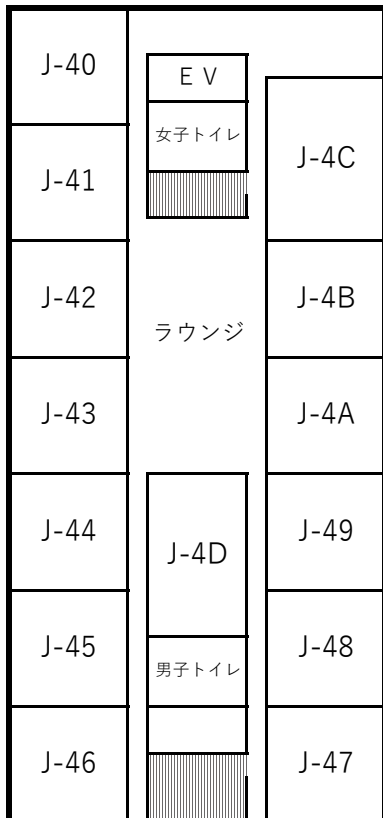
4F



5F



J 館



4F

- ・ A 館から J 館への移動は、一般歩道を通り、徒歩約 5 分です。
- ・ p.6 の地図をご参照ください。

プログラム

第1日目 3月21日(土)

9:15 ~ 17:00	A館2階 ロビー 受付						
9:45 ~ 10:15	A館1階 ホワイエ 開会挨拶/コミュニティ・ミーティング(オープニング)						
10:25 ~ 10:55	A館 フレアホール 大会長講演 治療共同体・再訪 大会長 ●古賀恵里子 司会 ●武井 麻子						
11:00 ~ 12:00	A館 フレアホール 特別講演 イギリスにおける治療共同体—伝統的モデルの修正と新機軸— 演者 ●Rex Haigh 司会 ●古賀恵里子						
12:10 ~ 13:10	A館21 代議員会						
13:20 ~ 14:20	A館1階 ホワイエ 日本集団精神療法学会 学会総会						
14:35 ~ 16:05	A館1階 ギャラリー 大会企画 ワークショップ1	A館21 一般演題1 (精神科病棟)	A館22 一般演題2 (理論・技法)	A館23 一般演題3 (スタッフ・その他)	A館32 一般演題4 (児童思春期・青年期)	A館33 一般演題5 (福祉施設)	A館34 一般演題6 (アドイクション)
	イネイプリング・エンバイロメントのためのコア・パリュウ、そして治療共同体のためのコア・スタンダード ●Rex Haigh 他 《コーディネーター》 ●古賀恵里子	《司会》 ●武井 麻子 ●相田 信男 《発表者》 ●田井 健 他 ●矢花 孝文 他 ●浅田 護	《司会》 ●嶋田 博之 ●多喜田恵子 《発表者》 ●野島 一彦 ●落合 尚美 他 ●ジェイムス朋子 他	《司会》 ●小宮 敬子 ●高橋 馨 《発表者》 ●藤巻加奈子 ●針生 江美 ●吉川 真衣 他	《司会》 ●藤 信子 ●菅 武史 《発表者》 ●木村 能成 他 ●那須 里絵 他 ●久保 浩明 他	《司会》 ●渡部 京太 ●水田 博子 《発表者》 ●高 祥也 他 ●西田 篤 ●水野 高昌	《司会》 ●齋藤 英二 ●中里 容子 《発表者》 ●只隈 康弘 他 ●森 智秀 他
16:20 ~ 17:05	A館 (1階ギャラリー、21、22、23、24、32、33、34、41、42、51、52、53) および J館 (40、41、42) リフレクション・グループ						
17:20 ~ 18:05						A館33 CGS ミーティング	A館34 オープンフォーラム
18:15 ~ 18:45	A館1階 ホワイエ コミュニティ・ミーティング(イブニング)						
19:00 ~ 20:45	D館8階 懇親会						

第2日目 3月22日(日)

8:30 ~ 14:30	A館2階 ロビー 受付						
9:00 ~ 9:30	A館1階 ホワイエ コミュニティ・ミーティング(モーニング)						
9:45 ~ 12:45	10:30 ~	A館21 大会企画ワーク ショップ2	A館22 大会企画ワーク ショップ3	A館23 大会企画ワーク ショップ4	A館32 大会企画ワーク ショップ5	A館33 大会企画ワーク ショップ6	A館34 基礎講座
	A館1階 ギャラリー 市民公開フォーラム おしゃべりからつながる〜地域のコミュニティに参加しよう〜 《司会》 ●高橋 裕子 《話題提供》 ●稲村 茂 ●橋本 千佳 他 《コーディネーター》 ●永見もも子 ●磯崎 聖子	東日本大震災等の相互支援グループ ●藤澤 美穂 ●針生 江美 ●藤 信子 ●高林 健示 ●安部 康代 ●長友 敦子	精神科医療と治療共同体 治療的な環境をどのように整えるか—日常を治療的に扱うために— 《スピーカー》 ●堀川 公平 ●岩崎 壮登 ●加藤 祐介 ●川合 裕子 《コメンテーター》 ●樋掛 忠彦 《コーディネーター》 ●川合 裕子 ●樋掛 忠彦	学校における治療共同体の視点—教育共同体を巡って— 《スピーカー》 ●鎌田明日香 ●梶本 浩史 ●菅 武史 ●新本 葉子 《コメンテーター》 ●巖岩 秀章 《コーディネーター》 ●菊地 寿奈美	児童心理治療施設と治療共同体—総合環境療法の視点から— 《スピーカー》 ●小川 素子 ●菊池 清美 ●早川 洋 《コメンテーター》 ●亀岡 智美 《コーディネーター》 ●岸 信之 ●志田沙恵子	アドイクション/司法領域における治療共同体 ●岡島 美朗 ●桜庭 拓郎 《スピーカー》 ●毛利 真弓 ●引土 絵未 《コメンテーター》 ●田辺 等 《コーディネーター》 ●宮城 崇史	
12:55 ~ 13:35	A館21 教育研修委員会						
13:45 ~ 14:30	A館 (1階ギャラリー、21、22、23、24、32、33、34、41、42、51、52、53) および J館 (40、41、42、43、44、45) リフレクション・グループ						
14:45 ~ 16:15	A館 フレアホール シンポジウム「考え続けるコミュニティ」 シンポジスト ●Robert Hinshelwood (ビデオ・プレゼンテーション) ●鈴木 純一 司会 ●古賀恵里子 ●川合 裕子						
16:25 ~ 16:55	A館1階 ホワイエ コミュニティ・ミーティング(クロージング)/閉会挨拶						

A 館 41	A 館 42	A 館 51	A 館 52
自主ワーク ショップ1	自主ワーク ショップ2	自主ワーク ショップ3	自主ワーク ショップ4
戦争体験のシェアリングに向けた試み ●藤堂 信枝 ●高林 健示	救急病棟におけるグループの実際と意義 -地域生活支援をみこした急性期治療の展開- ●高 富栄 ●福澤 宏之 ●森本 松子 ●二之宮正人 ●東端 憲仁	学校教育領域に芽吹くグループメソッド - ~ group for all ~ 多職種協働の時代に- ●梶本 浩史 ●野村 学 ●庄司 真理 ●加本 有希 ●松尾真規子	身体は語る-グループにおけるノンバーバルコミュニケーションを身体心理学の観点から体験する- ●水上真理子 ●鎌田明日香

A 館 41	A 館 42	A 館 51	A 館 52	J 館 40	J 館 42	J 館 43	J 館 44
自主ワーク ショップ5	自主ワーク ショップ6	自主ワーク ショップ7	自主ワーク ショップ8	体験グループ	事例検討	自主ワーク ショップ9	自主ワーク ショップ10
サイコドラマ体験ワークショップ-アクション・メソッドのグループ・プロセスを体験する- ●高橋 美紀 ●藤巻加奈子	こうえん-出入り自由の体験グループ since2008 - ●高橋 馨 ●野中 稔 ●藤澤 希美 ●卜部 裕介	組織集団の中での小グループの意味と維持 治療共同体を支えるもの (精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会) ●野島 一彦 ●権 成鉉 ●太田 裕一 ●山中 聖子	オーセンティック・ムーブメント-人は、どこにいてもからだと共にいる- ●神宮 京子 ●荒川香代子	体験グループグループアナリシスの考え方に基づく- 《コンダクター》 ●関 百合	《司会》 交渉中 《発表者》 ●青戸由理子 ●大森 眞澄 《スーパーバイザー》 交渉中	ナラティブなグループアプローチを体験する(その10)-「解決志向リフレクティング」による体験グループの試み- ●田代 順 ●望月 洋介	“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ ●鴨澤あかね ●大島寿美子 ●泉屋 有理

プログラムの参加について

- 各プログラムの定員、参加資格については p.13～14 の「各プログラムの定員と参加資格一覧」をご覧ください。
- 定員の定められたプログラムに参加を希望される方は、事前申込みの際にお申込みください。
- 申込順に受け付け、参加者が定員に達した時点で受付を終了しますので、ご注意ください。
- 定員に満たないプログラムについては、当日のインフォメーションをご確認ください。

インフォメーションの設置場所：A館2階ロビー

設置時間：3月21日（土曜日）9：15～17：00

3月22日（日曜日）8：30～14：30

■「コミュニティ・ミーティング」と「リフレクション・グループ」について

大会企画運営委員会は、大会全体を「一時的なコミュニティ」として体験できる仕組みを2つ考えました。1つは、1日目と2日目の最初と最後に行われるコミュニティ・ミーティングです（大会参加者全員対象）。もう1つは、より小さなサイズのリフレクション・グループです（事前登録者対象）。どうぞご参加ください。

[第1日目]

- ・コミュニティ・ミーティング（オープニング）対象：大会参加者全員
第37回大会に参加する「入り口」です。これから大会が始まる「今、ここで」の気持ちをことばにしてみてください。
- ・リフレクション・グループ（1日目午後）対象：事前登録者（1グループ15人前後）
小さなサイズのグループの中で他の参加者と顔を合わせ、大会テーマ、参加したプログラム、大会での自分の体験や気持ちについて、共有し考える場です。2日目のリフレクション・グループも同じメンバー、同じコンダクターで行われます。
- ・コミュニティ・ミーティング（イブニング）対象：大会参加者全員
大会というコミュニティでの一日目の体験について話し合う場です。例えば、大会に参加する中で考えたり、感じたりしたことをことばにしてください。

[第2日目]

- ・コミュニティ・ミーティング（モーニング）対象：大会参加者全員
大会の2日目の朝の「今、ここで」感じることをことばにしてください。
- ・リフレクション・グループ（2日目午後）対象：事前登録者（1グループ15人前後）
大会でのそれぞれの体験や気持ちを振り返り、共有する場です。それを自分の臨床実践と繋ぎながら考えることもできます。1日目のリフレクション・グループと同じメンバー、同じコンダクターで行われます。

・コミュニティ・ミーティング（クロージング）

対象：大会参加者全員

大会というコミュニティからの「出口」です。別れのプロセスについて考え、ことばにしてみてください。

各プログラムの定員と参加資格一覧

リフレクション・グループ	定員	参加資格
15名 × 20グループ	300名	なし

※リフレクション・グループは、大会2日間の両日参加（計2回）が基本です。事前申し込みの際にお申込みください。開催時間はプログラム一覧でご確認ください。事前登録をされた方には、グループ分け、開催場所を抄録集と一緒にお届けします。

※大会への参加自体が2日目（3月22日）のみの方のためのグループを、3グループ（1グループ15名定員）準備します。ご希望の方は事前申し込みの際にお申込みください。

[第1日目] 3月21日（土）

プログラム	定員	参加資格
コミュニティ・ミーティング		
コミュニティ・ミーティング（オープニング）	なし	なし
コミュニティ・ミーティング（イブニング）	なし	なし
大会企画ワークショップ		
大会 WS1 イネイブリング・エンバイロメントのためのコア・バリュー、そして治療共同体のためのコア・スタンダード	40名	なし
自主ワークショップ		
自主 WS1 戦争体験のシェアリングに向けた試み	25名	会員
自主 WS2 救急病棟におけるグループの実際と意義 ー地域生活支援をみこした急性期治療の展開ー	50名	なし
自主 WS3 学校教育領域に芽吹くグループメソッド ー～ group for all ～ 多職種協働の時代にー	25名	なし
自主 WS4 身体は語る ーグループにおけるノンバーバルコミュニケーションを身体心理学の観点から体験するー	25名	なし
その他の教育研修関連		
CGS ミーティング	なし	スーパーバイザー グループサイコセラピスト キャンディデイト
オープンフォーラム (誰でも参加できる、グループの実際とトレーニングを語り合う場)	なし	なし

[第2日目] 3月22日(日)

プログラム	定員	参加資格
コミュニティ・ミーティング		
コミュニティ・ミーティング(モーニング)	なし	なし
コミュニティ・ミーティング(クロージング)	なし	なし
大会企画ワークショップ		
大会 WS2 東日本大震災等の相互支援グループ	なし	なし
大会 WS3 精神科医療と治療共同体 治療的な環境をどのように整えるか ー日常を治療的に扱うためにー	40名	なし
大会 WS4 学校における治療共同体的視点 ー教育共同体を巡ってー	30名	なし
大会 WS5 児童心理治療施設と治療共同体 ー総合環境療法の視点からー	40名	なし
大会 WS6 アディクション/司法領域における治療共同体	30名	なし
基礎講座		
基礎講座	80名	なし
体験グループ		
体験グループ ーグループアナリシスの考え方に基づくー	15名	なし
事例検討		
グループの外で起きたメンバー間の葛藤をグループ内で扱おうとしたことの意味 ーコンダクターの体験を振り返るー	22名	会員
自主ワークショップ		
自主 WS5 サイコドラマ体験ワークショップ ーアクション・メソッドのグループ・プロセスを体験するー	25名	なし
自主 WS6 こうえん ー出入り自由の体験グループ since 2008 ー	なし	なし
自主 WS7 組織集団の中での小グループの意味と維持 治療共同体を支えるもの(精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会)	25名	会員
自主 WS8 オーセンティック・ムーブメント ー人は、どこにいてもからだと共にいるー	25名	なし
自主 WS9 ナラティブなグループアプローチを体験する(その10) ー「解決志向リフレクティング」による体験グループの試みー	20名	なし
自主 WS10 “機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ	15名	なし

第1日目 3月21日(土)

開会挨拶／コミュニティ・ミーティング（オープニング）	9:45～10:15	A館1階ロワイエ
大会長講演	10:25～10:55	A館フレアホール
治療共同体・再訪		
〈大会長〉古賀恵里子（大阪経済大学） 　 〈司会〉武井 麻子（Office - Asako）		
特別講演（通訳あり）	11:00～12:00	A館フレアホール
イギリスにおける治療共同体－伝統的モデルの修正と新機軸－		
〈演者〉Rex Haigh（パークシャー州コンサルタント精神科医） 　 〈司会〉古賀恵里子（大阪経済大学）		
代議員会	12:10～13:10	A館21
日本集団精神療法学会 学会総会	13:20～14:20	A館1階ロワイエ
大会企画ワークショップ1（通訳あり）	14:35～16:05	A館1階ギャラリー
イネイプリング・エンバイロメントのためのコア・バリュー、そして治療共同体のためのコア・スタンダード		
〈演者〉Rex Haigh（パークシャー州コンサルタント精神科医）と仲間たち 　 〈司会〉古賀恵里子（大阪経済大学）		
一般演題1 精神科病棟	14:35～16:05	A館21
〈司会〉武井 麻子（Office - Asako） 　 相田 信男（群馬病院）		
病棟というグループを休止しての気づき －治療共同体的運営を模索した精神科病棟が休止して－	田井 健（みさと協立病院） 矢花 孝文（みさと協立病院）	
病棟休止と「地域における治療共同体」 －地域で治療共同体を育てていくために－	矢花 孝文（みさと協立病院） 田井 健（みさと協立病院）	
病棟のトラウマとコミュニティ・ミーティング －長期入院の慢性統合失調症者を通じて現れたマザーグループによる救い－	浅田 護（浅田心療クリニック）	
一般演題2 理論・技法	14:35～16:05	A館22
〈司会〉嶋田 博之（東日本少年矯正医療・教育センター） 　 多喜田恵子（愛知医科大学）		
エンカウンター・グループのファシリテーター養成 －「コ・ファシリテーター方式プログラム」－	野島 一彦（跡見学園女子大学）	
スーパーヴィジョンを臨床に生かす －3つのグループの検討を通して－	落合 尚美（聖路加国際病院 精神科） 石附 牧子（東京都立学校スクールカウンセラー）	
性犯罪者を対象とするプレ集団療法のプロセスの検討 －夢の語りに見られた自由連想的発話空間の意味－	ジェイムズ朋子（京都橘大学） 大塚 貴浩（滋賀刑務所）	

一般演題3 スタッフ・その他

14:35 ~ 16:05

A館 23

〈司会〉小宮 敬子 (日本赤十字看護大学) 高橋 馨 (日本医科大学附属病院精神神経科)

スタッフグループの活性化に向けて
- 「グループ勉強会」の試み-

藤巻加奈子 (誠心会神奈川病院)

精神科急性期治療病棟で看護師がコミュニティ・ミーティングをおこなうということ
- グループの再開、継続に至るプロセスで、何が起こっていたのか-

針生 江美
(一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院)

精神科急性期治療を行う大学病院でのグループ実践

吉川 真衣 (大阪医科大学神経精神医学教室)
川茂 聖哉 (かわしげクリニック)
高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)

一般演題4 児童思春期・青年期

14:35 ~ 16:05

A館 32

〈司会〉藤 信子 (立命館大学) 菅 武史 (広島市教育委員会スクールカウンセラー)

「愛着の課題」を抱えた子どもに対するグループアプローチ
活動集団療法での実践を通して

木村 能成 (国際基督教大学大学院)
那須 里絵 (国際基督教大学大学院)
西村 馨 (国際基督教大学)

愛着トラウマを抱える子どものグループセラピー

那須 里絵 (国際基督教大学大学院)
西村 馨 (国際基督教大学)

社会的ひきこもりの精神分析的集団精神療法
- グループからの卒業をめぐる -

久保 浩明 (九州大学大学院医学研究院精神病態医学)
加藤 隆弘 (九州大学大学院医学研究院精神病態医学)

一般演題5 福祉施設

14:35 ~ 16:05

A館 33

〈司会〉渡部 京太 (広島市こども療育センター) 水田 博子 (中央区障害者地域活動支援センター ポケット中央)

ある児童心理治療施設における話し合いの方式

高 祥也 (児童心理治療施設ももの木学園)
志田沙恵子 (児童心理治療施設ももの木学園)

施設治療における「ある揉め事」への介入の意味
- 多チャンネルでの信頼関係の確認と再構築 -

西田 篤 (広島市こども療育センター愛育園)

就労支援施設におけるコミュニティ・ミーティング
- 細々と続けるグループ、その存在の意味と今後の課題を考える -

水野 高昌 (帝京平成大学)

一般演題6 アディクション

14:35 ~ 15:35

A館 34

〈司会〉齋藤 英二 (築地サイトウクリニック) 中里 容子 (神奈川県立精神医療センター)

ワークブックを使ったアルコールグループの立ち上げ
- 内科に併設された精神科外来のグループが与えた影響とは -

只隈 康弘 (すこやか診療所)
石田 恵子 (すこやか診療所)
遠藤 嶺 (吉田病院)

ゲーム・ネット依存症の集団精神療法
- 長年グループを支えたメンバーの死と、治療中断・再開からみえる依存症の課題 -

森 智秀 (のぞえ総合心療病院)
坂口 信貴 (のぞえ総合心療病院)
堀川 公平 (のぞえ総合心療病院)
古賀 禎也 (のぞえ総合心療病院)

自主ワークショップ1

14:35 ~ 16:05

A館 41

戦争体験のシェアリングに向けた試み

藤堂 信枝 (白峰クリニック・山本メンタルクリニック) 高林 健示 (クボタ心理福祉研究所・東京集団精神療法研究所)

自主ワークショップ2

14:35 ~ 16:05

A館 42

救急病棟におけるグループの実際と意義 -地域生活支援をみこした急性期治療の展開-

〈話題提供〉二之宮正人 (八幡厚生病院)

〈コメンテーター〉東端 憲仁 (北海道立緑ヶ丘病院)

〈企画者〉高 富栄 (ココころのクリニック) 福澤 宏之 (北海道大学病院) 森本 松子 (八幡厚生病院)

自主ワークショップ3

14:35 ~ 16:05

A館 51

学校教育領域に芽吹くグループメソッド - ~ group for all ~ 多職種協働の時代に-

梶本 浩史 (東京都立学校スクールカウンセラー) 野村 学 (オリブ山病院・沖縄県スクールカウンセラー)

庄司 真理 (東京都立学校スクールカウンセラー) 加本 有希 (相模原市立青少年相談センター)

松尾真規子 (駒沢女子大学)

自主ワークショップ4

14:35 ~ 16:05

A館 52

身体は語る -グループにおけるノンバーバルコミュニケーションを身体心理学の観点から体験する-

水上真理子 (北仁会石橋病院) 鎌田明日香 (大通りつげのクリニック・札幌市スクールカウンセラー)

リフレクション・グループ

16:20 ~ 17:05

A館 および J館

CGS ミーティング

スーパーバイザー、グループサイコセラピスト及びキャンディデイトの定例会

17:20 ~ 18:05

A館 33

オープンフォーラム

誰でも参加できる、グループの実践とトレーニングを語り合う場

17:20 ~ 18:05

A館 34

コミュニティ・ミーティング (イブニング)

18:15 ~ 18:45

A館 1階ホワイエ

懇親会

19:00 ~ 20:45

D館 8階

第2日目 3月22日(日)

コミュニティ・ミーティング(モーニング)

9:00～9:30

A館1階ホワイエ

大会企画ワークショップ2

9:45～12:45

A館21

東日本大震災等の相互支援グループ(企画・運営 JAGP 相互支援委員会)

藤澤 美穂(岩手医科大学教養教育センター) 針生 江美(国見台病院) 藤 信子(立命館大学)
高林 健示(クボタ心理福祉研究所) 安部 康代(安田病院) 長友 敦子(宮城県子ども総合センター)

大会企画ワークショップ3

9:45～12:45

A館22

精神科医療と治療共同体「治療的な環境をどのように整えるかー日常を治療的に扱うためにー」

〈スピーカー〉堀川 公平(のぞえ総合心療病院) 岩崎 壮登(群馬病院)
加藤 祐介(赤城高原ホスピタル) 川合 裕子(京都大学医学部附属病院デイ・ケア診療部)
〈コメンテーター〉樋掛 忠彦(長野県立こども病院)
〈コーディネーター〉川合 裕子(京都大学医学部附属病院デイ・ケア診療部) 樋掛 忠彦(長野県立こども病院)

大会企画ワークショップ4

9:45～12:45

A館23

学校における治療共同体の視点ー教育共同体を巡ってー

〈スピーカー〉鎌田明日香(札幌市スクールカウンセラー) 梶本 浩史(東京都公立学校スクールカウンセラー)
菅 武史(広島市教育委員会スクールカウンセラー) 新本 葉子(広島県・広島市スクールカウンセラー)
〈コメンテーター〉榎岩 秀章(埼玉工業大学)
〈コーディネーター〉菊地寿奈美(京都市スクールカウンセラー)

大会企画ワークショップ5

9:45～12:45

A館32

児童心理治療施設と治療共同体ー総合環境療法の視点からー

〈スピーカー〉小川 素子(児童心理治療施設もの木学園) 菊池 清美(筑後いずみ園)
早川 洋(子どもの心のケアハウス嵐山学園)
〈コメンテーター〉亀岡 智美(兵庫県こころのケアセンター)
〈コーディネーター〉岸 信之(京都桂病院) 志田沙恵子(児童心理治療施設もの木学園)

大会企画ワークショップ6

9:45～12:45

A館33

アディクション/司法領域における治療共同体

〈スピーカー〉毛利 真弓(同志社大学) 引土 絵未(国立精神・神経医療研究センター)
〈コメンテーター〉田辺 等(北星学園大学)
〈コーディネーター〉宮城 崇史(京都大学大学院)

基礎講座

9:45～12:45

A館34

岡島 美朗(自治医科大学附属さいたま医療センター) 桜庭 拓郎(医療法人恵愛会青木病院心理室)

市民公開フォーラム

10:30 ~ 12:30

A館1階ギャラリー

おしゃべりからつながる ~地域のコミュニティに参加しよう~
共同企画：大阪経済大学『心・体の健康と防災セミナー2019』

〈司 会〉高橋 裕子 (大阪樟蔭女子大学)
〈スピーカー〉稲村 茂 (メンタルクリニック秋田駅前)
橋本 千佳 (よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 よどまち保健室) 他
〈コーディネーター〉永見もも子 (新阿武山病院) 磯崎 聖子 (帝塚山大学学生相談室)

体験グループ

9:45 ~ 12:45

J館40

体験グループ - グループアナリシスの考え方に基づく -

〈コンダクター〉関 百合 (一橋大学保健センター)

事例検討

9:45 ~ 12:45

J館42

グループの外で起きたメンバー間の葛藤をグループ内で扱おうとしたことの意味 - コンダクターの体験を振り返る -

〈司 会〉交渉中
〈発表者〉青戸由理子 (花みずきナースステーション) 大森 眞澄 (島根県立大学)
〈スーパーバイザー〉交渉中

自主ワークショップ5

9:45 ~ 12:45

A館41

サイコドラマ体験ワークショップ - アクション・メソッドのグループ・プロセスを体験する -

高橋 美紀 (S&Cサイコドラマ・ラボ) 藤巻加奈子 (誠心会神奈川病院)

自主ワークショップ6

9:45 ~ 12:45

A館42

こうえん - 出入り自由の体験グループ since 2008 -

高橋 馨 (日本医科大学附属病院精神神経科) 野中 稔 (保健同人社) 藤澤 希美 (愛知医科大学)
卜部 裕介 (関東中央病院)

自主ワークショップ7

9:45 ~ 12:45

A館51

組織集団の中での小グループの意味と維持 治療共同体を支えるもの (精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会)

野島 一彦 (跡見女学園大学) 権 成鉉 (クリニックソフィア) 太田 裕一 (静岡大学)
山中 聖子 (大宮厚生病院)

自主ワークショップ8

9:45 ~ 12:45

A館52

オーセンティック・ムーブメント - 人は、どこにいてもからだと共にいる -

神宮 京子 (群馬病院) 荒川香代子 (松田病院)

自主ワークショップ9

9:45 ~ 12:45

J館 43

ナラティブなグループアプローチを体験する（その10）－「解決志向リフレクティング」による体験グループの試み－

田代 順（山梨英和大学） 望月 洋介（浜松医科大学精神科）

自主ワークショップ10

9:45 ~ 12:45

J館 44

“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ

鴨澤あかね（北星学園大学） 大島寿美子（北星学園大学） 泉屋 有理（相川記念病院）

教育研修委員会

12:55 ~ 13:35

A館 21

リフレクション・グループ

13:45 ~ 14:30

A館 および J館

シンポジウム（通訳あり）

14:45 ~ 16:15

A館フレアホール

考え続けるコミュニティ

〈シンポジスト〉 Robert Hinshelwood（エセックス大学・精神分析研究センター名誉教授）
*ビデオ・プレゼンテーションとWeb通話による登壇を予定しています。

鈴木 純一（東京集団精神療法研究所）

〈司 会〉 古賀恵里子（大阪経済大学） 川合 裕子（京都大学医学部附属病院デイ・ケア診療部）

コミュニティ・ミーティング（クロージング）／閉会挨拶

16:25 ~ 16:55

A館1階ロワイエ

日本集団精神療法学会第37回学術大会

企画運営委員会

大会会長：古賀恵里子

運営委員長：岸信之

事務局長：川合裕子

運営委員（五十音順）：熱田智子 磯崎聖子 市来千絵 上村哲矢 大久保美和子 柿田充弘 片岡泉
金井菜穂子 菊地寿奈美 志田沙恵子 高橋裕子 寶田穂 滝谷七重 田中怜子
椿野洋美 永見もも子 西村翔 橋本史人 網村真弓 樋掛忠彦 樋口智嘉子
前田渉 松本千穂 宮城崇史

顧問：田原明夫 藤信子

大会事務局

大阪経済大学人間科学部 古賀恵里子研究室

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

e-mail：37osaka@jagp1983.com

大会HP：http://jagp1983.com/jagp37osaka/

後援：一般社団法人 大阪精神科病院協会

一般社団法人 日本精神科看護協会

大阪府臨床心理士会

一般社団法人 大阪精神保健福祉士協会

一般社団法人 日本精神保健看護学会

全国児童心理治療施設協議会

日本集団精神療法学会 第37回学術大会 プログラム

大会事務局

大阪経済大学人間科学部 古賀恵里子研究室

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

e-mail : 37osaka@jagp1983.com

大会 HP : <http://jagp1983.com/jagp37osaka>